【○○十九日發國通】宜昌ならびにその周邊の敵はわならびにその周邊の敵はわたが軍の宜昌攻略とゝもに遠に支離減裂となつて敗走したが重慶は離反せんとする民心を繋ぎ留めるため最近

しび羅俄動撒べ略右奪 来東動然を選べ

し来つたので質は良しと と来つたので質は良しと が東方の低設陣地に進入 で東方の低設陣地に強られて で東方の低設庫地に強られて で東方の低設陣地に進入 で東方の低設庫地に進入 で東方の低設庫地に進入

を確同なた

イ判がのン

ッ官邊筋では「フランス側の諸否が判明するまで媾和 にトラー、ムソリリニ兩 と左の如く語つた ヒトラー、ムソリリニ兩 と方の如く語つた と方の如く語った と方の如く語った とが表すれないであら に、ラー、ムソリリニ兩 に、ラー、ムソリリニ兩

郷和條件も含まれてゐるが、フランス側の諸否が が、フランス側の諸否が が、フランス像和條件が が何軍の抗酸力を無力化 が何軍の抗酸力を無力化 が何軍の抗酸力を無力化 がの軍の抗酸力を無力化

は確實である
はなは対象体のは、
はないである。

如く簡易なコ へン會談につい の獨伊医

南互頭

明しないが、十八日中

大使館參事官

三浦

武美

(東京護國通) 援蔣輸血路として最近ますますその敵として最近ますますその敵に對しては去る十六日南支に對しては去る十六日南支に對しては去る十六日南支に對しては去る十六日南支に制定の背景の措置につき嚴重が不行はれ来つな「佛印敵從來行はれ来つな「佛印敵な不行はれ来つな「佛印敵從來行はれ来つな「佛印敵

内容について同夜左の如く簡單な共同コンミ十八日午後四時より二時間半にわたつて行は

しわたつて行はれ

一個伊南國の

ヘン出發歸還の途についた、

兩雄の歴史的會談

なほ會談は

ニケが發表された

共同

ンミユニ

頭の意見

[ベルリン を通じてフ

一八日のヒトラー、

ムソリーニ會談により決定した獨伊側の媾和條件は會談終了後直ちにスペイン! 休職提談に對する獨伊兩國の態度につき協議した結果完全に意見の一致をみた

ス側の回答が發せらる模様で會談により決定した獨伊側の

ランス政府に

宜

邊周

敵

わ

から

奇策に忽

ち潰亂

に對しては去る十二 として最近ますます

本側屢次の警告にも拘らず 從來行はれ來つた「佛印跡 性」の具體的內容は大略を 性」の具體的內容は大略を

瓊線より出發した自動車群がわが荒鷲の飛來を見るやフラ遼線附近で自動車群を發見これを爆撃せんとするや忽ちフ近に至り軍需品の供給によるフランスの援蔣態度はいよい

ランスの大國旗を展張

わが爆撃を免れ

しめたり

めたり、また或時は、

旣に 國

ス當局は忽ちこれを國境線内に掩護する等その利敵援蔣態度は全く

語に絕するものがある

慶抗戦

日九十月六 融行 0 8 0 日田日 Di AAA

對實 定本 全世 四朝 (3 位第一 水和十二次 日日 內波河 TI B A 二一十一円円五五五十十十

之 蒙忠 通短線門

し重白有あ権當が

今次の撤退制告もかいる 意味より行はれたもので これをもつて米國政府が 無差別的空爆と稱するが 如きは全く心外の至りで ある となし有田外相は十八日附 をとなし有田外相は十八日附

宣傳部長林・

宣傳部長ラデオを通じ

動の第二段階 腐のラ 日國

に投

ぜよ

一一時に至るも鎭火一

里慶權 猛は尊

放出して和平建國に邁進 國家民族の滅亡が共產黨 國家民族の滅亡が共產黨 國家民族の滅亡が共產黨 仇戦の愚を痛論

職争開始以來待望したソ 大る、抗職の當初御身ら 大る、抗職の當初御身ら が待望した英米の壓迫、 が待望した英米の壓迫、 が待望した英米の壓迫、

といはれる。

歌の出兵は果してどうだい。 を整め開始される、 変を開始される、 変を開始される。 変を のがで、 変を のがで、 のがで、

を退るない。 を退るない。 を退るない。 を選びない。 をでするとは、 をでするとなが、 をでする。 をで

此段及謹告候也

正

段(場渡値段)

六月二十日新渡しより實施可致候に付

新京市内石炭販賣値段左記の通り改正

石炭販賣値段改正廣告

重

帰軍て米に協力要望

林子頭

河

八道江

五道江

三五

三五

九五

六五

0五

鐵廠子

事 往來

同

五

六五

六五

火 同 同 石 嶺

六五

五

切込

七五

田外務大臣は本月十四日今次の重慶空爆に關し有

▲藤堂宇一氏(鞍山市公署 署員)同 配人)同 配人)同 一个四三生氏(郝斯蘇山菜)同

五五五

七五

七五

五五五

本一間三生氏(滿洲鑑鋼所 本中村松之助氏(大連會社 員)同 本中村松之助氏(大同セメント常務)同溝蒙ホテル 本中村松之助氏(大同セメント常務)同溝蒙ホテル 本一は上下では、(一部を) 一部の出版は、(一部を) 一部の出版は、(一部では) 一部のに) 一のに) 一のに)

談邊官獨

独京哈同同同奉安 で 順城市 へへへ

> 田子付 同 同同同同阜同同 號 安 切込 切込 粉炭 五五 0五

和同同 五五 五五五 五五五 八五 五五 八五 八五

●「右は特別値段」(一 般御家庭用

がおあらうか、とも角何處かで もあらうか、とも角何處かで をなるまい。

0

日

●運般賃は後來の通り別途可申受候 て標準値段は總て 康德七年六月十九日 一圓三十錢

重慶空襲北 村 機 0 勳 ·慶日十

から云へば復鮮の 知れないが、明治維新の歴 と青少年の感激と、この時で と青少年の感激と、 無軌道ぶりの

憂ふ

可

き現代

の歴史ではない。

では自由奔放に天下を横行 では自由奔放に天下を横行 では自由奔放に天下を横行 では自由奔放に天下を横行 では自由奔放に天下を横行 では自由奔放に天下を横行 では自由奔放に天下を横行 一徹な進取の た 大地にしつ 大地にしつ

て心合心

職にる心

高声 世俗を離れた たれ奔の夢で放時

なことであるのか質は深く なことであるのか質は深く があるとせば、その最たる もの要するに多くはの實年 して、トップへビーの姿で しに、トップへビーの姿で 人生得路の最も大切なるべ き行程を彷徨しつ」あるが、 ものであるが私を しに、トップへビーの姿で 人生得路の最も大切なるべ き行程を彷徨しつ」あるが

しもの柳を拂ひ

の推選で

対の境地を指いて別域の はと特権であるが、から は、特権であるが、から で関係が、と同じ優値と対して、関係がであるが、なりするを負擔させられる。 で関係を利力を負擔させられる。 で関係がでは、それた情報であるが、から で関係がであるが、からの で関係がであるが、から で関係がであるが、から で関係がであるが、から で関係がであるが、から での存在は野球期と一般の のであるが、から のと同じの であるが、から のにであるが、から のにである。 のにであるが、から のにである。 のにであるが、から のにである。 のにであるが、から のにである。 のにはいからの。 のにである。 のにでなる。 のにである。 のにでなる。 のにでな。 のにでなる。 のにでなな。 のにでなる。 のにでな。 のにでなな。 のにでなな。 のにでなな。 のにでなな。 のにでなな。 のにでなな。 のにでなな。 のに

| 合歌のみ徒らに赤く、安| ・題になる、それ以上に、そ の地位そのものが問題だが、

年層は

作られ来り

東亜の協同、一 れねば

> 日滿商事株式會社 新京石炭販賣組 合

物をも超

は

無我

「電を整き直もにそのまで対撃を鎖けたが これは要するにわが これは要するにわが でありまで表示する

めのせが酸義る人は

爆荒鷲體験を語る

來かも中つを命彈森に戰

【○○基地十九日発販通】 ・ で開き計絶極まるその替地で開き計絶極まるその替動で開き計絶極まるその替地で開きが開きなとで、 ・ でいるでは、 ・ でいるでいるでいるでいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでいるでは、 ・ でいるでいるでいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるではなでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでは、

體基陸敵

幅思てつきな () の () を ()

馬田松岡出一毛

(日曜木)

本人の来物配給に開しては日 本人の来物配給に開しては日 本人の来物配給に開しては日 れが實施を七月中旬頃より れが實施を七月中旬頃より れが實施を七月中旬頃より れが實施を七月中旬頃より たっその習慣並びにその が清別 がは、通

高大・物の偏在又は餘利、 これによる闇取引的轉賣を が止する意味に於て配給量 第一級に一ヶ月七斤、第二 級に五斤、第三級に三斤、第二 一個級に一斤、何れも瀬斤)配 一個級に一斤、何れも瀬斤)配

新、本人に對する配給は家族持 等をする者に限り年齢の別 特になく一人一ケ月二百瓦を配 等二 第二 第二 北が趣旨徹底のため十九 日午後一時より關係各區 長、事務主住を招集、善 慶方要望した

待機してる勢

ためる (寫真は調査出来るべき國勢調査に備

開紙を眺れるため

成める係員達 ある國勢調 ある國勢調

國都防疫陣の完整に楽出し 食物取締第一日目十九日は 食物取締第一日目十九日は 全前九時から除員總動員の をとに驛構内及び驛前資店 とサイダー、ビール、ウイ とサイダー、ビール、ウイ とサイダー、ビール、ウイ これ、係員 も不良品が驟構内賣店の僅かな 長品が驟構内賣店の僅かな であったのかと今

今な不員本イん店のは飲し

七六

日(日)日(月)日(月)

あ

す(二十日)

場所、新市街方面

可

家有り

2

八

委細面談仲介者御斷り

小麥粉も

通帳制

満系を四階級に區分

新京園藝協會では先散来より公園、各公館等の花壇に り公園、各公館等の花壇に 一 本一銭程度) である、申込は市公署公園 本である、申込は市公署公園 本である、申込は市公署公園 本である、申込は市公署公園 本

五○○册、同六年度一上五○○册、同六年度一上

七七

図都の某國民學校では一年 和末を通り越してお塞い位 和末を通り越してお塞い位

の先鋒隊として道路建設に の先鋒隊として道路建設に の先鋒隊として道路建設に 高をもつて編成されてゐる 協和青年道路建設率公隊の 協和青年道路建設率公隊の 協和會中央本部ではかねて からその尉間隊の派遣方を からその尉間隊の派遣方を からその尉間隊の派遣方を

警護

隊の衛生取締

つた 徹底的に乗り出すこととな

競 連 大 三 三 (全)

會馬競州東關

0 0

競

叩を締出

萬民

赤誠の

詠進

萬餘

はろつたみ祝ふよき日の なさをわきて覺ゆるいく さする分に

道路建設隊

仰苦勞様の

と慰問

肠和會が近く派遣

ため現地約十ヶ所

療訪公

る豫定である

名門の合嬢がどうして新京に洗れて女給商賣を売り、かれて無難がとうして新意と者ので東京藝術學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒業後、かれて經費學院卒の結婚學院卒の結婚學院卒の結婚學院卒

である

吉林野球勝つ

白

會その他の慰安會

を開催す

馬で遊ぶ和照響劉州事は十七日午後五時長通州事は十七日午後五時長通州事は十七日午後五時長通に五日と、(二五)を馬錦盗容疑者として引致したが、陳は五月三百圓)を窃収・百五十圓三百圓)を窃収・百五十圓三百圓)を窃収・百五十圓

ル行 女給 大夢集
一、新開店に付數十名募集す
一、新開店に付數十名募集す
一、新開店に付數十名募集す
一、新開店に付數十名募集す
一、新開店に付數十名募集す
一、新開店に付數十名募集す
一、新開店に付數十名募集す

賣店に

草花苗を頒布

一 徳一 心 の 健 石融 納 日滿一徳一心を永遠に具現して國都大同公園に建設される訪日宣詔記念に具現して國都大同公園に独立物の基礎石は日滿金中小學校の邀ゆる熟護をこと於て日鎮の獻納式を行つたが、その後八紘一字を、表徴する八個の籍に納められトラックにのせ國民優、教學校生徒十名の手によつて十九日午前十一時宮内府、敵學校生徒十名の手によつて十九日午前十一時宮内 玉公園 園内歩道を舗装

お

お粗末以

内歩道の舗装につき練てより頭を惱ましてるたが、最近に至りやつと豫算の算段がつき直ちに工事に着手することになつた、滿銭附屬の歩道舗装はこゝに漸く

休暇勤勞奉仕

に紙質の改良は問屋が ははなられてゐる現狀とて は言へ何はなくても子供に だけは不自由をさせたくな いと言ふ親心から何とか立 が改善することやら見當 は今夏季休

本来を約した男に捨てられた東暗城・一大ので右原出を却下、悪にた女給營業許可願からなって右原出を却下、悪にたので右原出を却下、悪にたので右原出を却下、悪にためのうへ十七日午後六時にので右原出を却下、悪になることの確證を得たので右原出を却下、悪になるでも、まな。

たことから子供の教育上 西白くないと結婚解消を 中し渡され同時に實父半 中し渡され同時に實父半 かたされた り鳥生活を始めマネキン、 で、八百枝らとと轉々職をか へた擧句東京淀橋區特殊喫 茶店「スコール」から前記 愛子、八百枝らとともに去 る三月來京したものである 「寫眞は瑠璃子」



雨煙る情調も満喫

轉落

の市

長娘

4)

桃色半生記

1、1、19

が ス 路線 安全 ガッリン統制の飛び變を行ふことになつた (寫眞は三中卉前停留所で變を行ふことになつた (寫眞は三中卉前停留所で のた唯体

年生約三十名、指導者久保助教授 保助教授 公北支第一線地區への診療 幸仕

△蒙古地方巡回診療率化人 ●景末定 本糖順地方におけるマラリ ・竹遇率化二、三年生三 ・村名 ・松花江(佳木斯地方)の へ松花江(佳木斯地方)の

李謇長が管内密行中學動不 午後九時頃和順公園派出所 年後九時頃和順公園派出所

め協議の結果、新京古綿再 製組合を結成し國策に順應 することとなつた、なほ協 定慣格は近く決定の筈であ るが、大體古綿一貫につき 工賃八十二銭となる模様で

道街四十八號劉樹畫二二 號趙維範(二一)及び東四 道街四十八號劉樹盡二一と共謀し某靴下製造工場より上製靴下三百八十足を窃り上製靴下三百八十足を窃り上製靴下三百八十足を窃り上製靴下三百八十足を窃り上製靴下三百八十足を窃り上製靴下三百八十足を窃り上鉄が

審の少年を引致収調べたと

太医院 ダイヤ街電3四七四三

一、學歷を問はず實直にして成べく經驗ある者 名を要す 名を要す 名を要す 新京特明市写用毎日等、企業人二 新京特明市写明優優書携帶本會社監修。 新京特明市写 一、待 遇 面談の上決定す
一、禁集人員日滿系各若干名
市の通り募集致すに付希望者は履歴書携帯の上來る
市の通り募集致すに付希望者は履歴書携帯の上來る
六月二十一、十二日の兩日午前九時迄に當局底務課
に出頭相成度し 者 漫 畵

五階ギャラリ 展 日三廿……日十二

陸軍病院慰問 十八日來京した東京女子青年團一行は十九日午後一時 中国一行は十九日午後一時 から陸軍病院に赴き白衣の 士勇の病床に親しく慰問を

東京女子青年團

民刑一般法律事務

御博動其他の都合で御住ひを御護御轉動其他の都合で御住ひを御護ですが御禮として五百圓差上げますが御禮として五百圓差上げます。 こかり の方に 御願

告逝に日母 候仕於午小 りて後橋 候狭八モ に付此段及謹 が心症により急宅 に対しまり急宅

昭和十五年六月十九日神式を以て相管べく候時より新京祝町太子堂に於て、

總友總親 代人代威 男 新京富士町一 梶高久小 原熊武 太郎 太郎 大穂 茂穂

電話③六〇 四 新京ダイヤ街(中央) 番

西山萬年筆專門店

電話③五六〇九番

記念品に

萬年筆 3

新京古綿再製 組合を結成 週和に於ける綿製品の需給 週泊に伴ひ古綿打直し利用 この機に乗じ再製綿菜者間 に工賃の場應並に不正手段 に工賃の場應並に不正手段 に工賃の場際が現れ 臣に献納した「寫真は子大」
防献金として五千圓を子大
防献金として五千圓を子大 (四) 編志子 (三) をまく四) 編志子 (三) をまらけたが良家の娘に有りがちな我儘氣質からいつとがある事で目にがある事で目にがある事ではり始め事やかな生活に憧れて新興映畫を生活に増れて新興映書をといる。 錦熱旗長献金

議 午後二時 於首都

七時會於

(大阪) 開拓文章 (大阪) 開拓文章 (大阪) 開拓東島 之 (大阪) 開拓島 之

ンヤ フ

棚威者本阿彌光美先生來る…鱧是料二

刀に付金一園…口答

コント 娱夕樂刊

道

晚酌變化

「無職は貴男よ!」 「らるさいッ!」 つて様な譯で夫婦喧嘩は進 展して行つた。 どゝのつまりは

飛び出して了つた。
おは作りかけのマヨネなさい!」

酒も懲利の肌に汗を見せて、飛山君のお好みのカン になつたらしい。飛山君は がカンと生脈を飲んで、徳 利をつまんで、トクトクト りと酒を盃に注いだ。薄黄 りと酒を湛へた盃は矢庭に 飛山君の口中に運はれた。 でないか……すつば

してそれは酢の瓶だつた。果た一升瓶を調べて見た。果 は今一度悲鳴を

新京音樂院の

第二回來月出發

らやマヨネーズにやいたからだつた。酒

持ち上げうらめしげに牛々の一升瓶を一本づつ両手で飛山君は同じ様な酒と酢

本を覗いて居たらしい。 (宮川 讃)

「魚の市塩」完成 東京市百四十萬戸の大世帶 に提供される魚は、近海は もとより、北海道から南は 地の魚市場に殺到する、 楽地の魚市場に殺到する、 楽地の魚市場に殺到する、

七月公開四作

夜 10 和 19

ル松竹總動員の

戶

ウユビデく輝の人新三

作心野ぐ次に「持氣のけだ女」の海春穂瑞

二日封切

豆水牛家

表子米上最。吉浩田高 雷春

> ら自せさ致一然渾を曲 節吉浩?た以曲作心苦 !よれらけ懸を待期に



劍

建設によった。

(研・白鞘) 仕事本位の店

備

山前 長



兒

郞

行く 至る に鍛 西 の役 明治 轉換期た 南 カ 迄 戰 爭 ょ 初 强 ら戦争り年期れ火に十戊た

を族 年辰る 大

山本禮三郎×

片山明彦

瀧口新太郎×

見明凡太郎

外日活多摩

總出

井梁四郎

風見章子

柳小菊

舘迄催

內田 吐夢監督 監察出品作 紀元二千六百年



荷造運送 朝日通り三九番

撮影· 鈴 如 22日 所 春 惠 · 併 淳三郎 大友柳太郎 · 荒 木 忍 槍 木月岡

きツ豆、チョコレートなんか 生みと育てのお母さんの喜び 生みと育てのお母さんの喜び がて、嬉れしくて泣ける抒情 莊靜 榮敏八兒 お娘さ 衛島佐嶋

街を描 敏競美ま

*

▲商帝日滿鐘新大

志之

と。それだから、死人臭え 「親分は殺されるし、平太 兄イは、今が今の大病人だ し、それだから、死人臭え からいたが、と、言つのがあるのに、何故戻したがるぢゃねえんだ、と、言つのがあるのに、何故戻したがるぢゃねえなど、酷えないなんと、酷えないなんと、酷えないなんと、酷えないのがあるだが人臭え竹の塚いるができない。 で、酷えことを吐しやで、酷えことを吐しやで、漁人組へ来い、 で、漁人組へ来い、 で、漁人組へ来い、 で、漁人組へ来い、 で、漁人組へ来い、 で、現在 りながら野呂餅は 人組へ、犬の貸似な それは、ひとり小平次ばかりで無い。父安五郎が死んでからといふものは、掌を返すやうに、俄に冷たくなつた世間の誰も彼もが恨めしく、お藤は佶と、唇を噛みしめるのであつた。『あゝア、こんな時、半次が居て吳れたらなあ』と、思はず平太の、賜を絞って出る一句。 お藤も、野呂勝も、思ひは同じことである。 その時、戸口に人の氣配がした。 『人の心は、ほんたりに分らないものだねえ、半次さんの身代に立つた小平次さんが、浪人組へ寝返りを打つなんて……あの人ぼかりな焼だと思つてゐたのに、やつばり見達ひゼつたのかねえ』 野呂勝が出て見ると。 庭先に只獨り、のつそり 立つてゐるのは、今も今と 立つてゐるのは、今も今と

土豆滿同雞疏街大五

等京村式(短期) 東 1812 1810 東 1812 1810 東 1812 1810

本 (年五十年) 本 (本) 本 (本

1.16 4.25 7.23 こころ妻前篇 こころ妻後篇 2.13 5.22 9.16 深川裸祭り 12.00 3.09 6.17 十九日より廿一日迄 五十錢 娘の春・槍の權三

12.00 2.35 5.20 7.55 9-05 3.45 6.20 十八日より廿日迄 料金六十錢

> 12.00 3.23 12.40 4.03 7 - 35 しき首途 1.45 5.08 8.40 爾次喜多道中道 十九日より廿一日まで・五〇セン

1'18 4,22 1,36 4,40 1,57 5,01 7,26 7,44 8,15 9,12 10,25 短ニュース問数銭前篇 獨髏錢後篇 12,00 3,04 6,08 十八日より二十日まで 料金五十銭均一

12.15 3.35 6.55 12.23 3:48 7.10 チオ 10.30 1.45 5.05 8.30 10.15 十四日より十九日迄

豫告廿一日より 日活巨豪篇

11.00 2.59 11.30 3.19 コロムビアショウ 志村道夫 水戸黄門 12.05 3 54 7.41

8.21 10.26 12.45 4.34 十九日より廿一日迄 料金一圓

京·本郷·神 調館 日十二月五 日五十月五 日五十月

藻則場 物事を整頓し 東朝

銀座等李

世界の人 前にのみ進むときは後ろは忽且となるで、し、内と丁と辛が吉ときは後ろは忽且となるで、人 不遇の感至つて深き日後日の為と思ひて変き日後日の為と思ひて変き日後日の為ととが吉とくり強くし、一世間に乏しく失敗を招して野情に乏しく失敗を招して野情に乏しく失敗を招して野情に乏しく失敗を招している。

●五黄の人 落つきて築を 動めば何事も可ならざる なし、異と丁と甲が吉 ちる 南と癸と甲が吉 ちる 南と癸と甲が吉 を立つるときは大失敗を を立つるときは大失敗を を立つるときは大失敗を を立つるときな大失敗を

新京学

同じです 題は 日日 本活映 映 畫都 得意の気劇で初い 0 同六十 公演 一日より 代氣 ス B 0 お 目見得~ 豐 新 優 來 樂 劇





九日發國通」わが陸海航空部隊

即ち村井、石川、柴田、

意思を申入れしめた。その申入れの趣旨は一、佛印に闘しては帝國政府は東亜安定の趣前よりこれに重大關心を有するものなることで、帝國政府は獨伊兩國と同一の世界的理想の下に立つものなること

府はかねてこれを重視し、那の投蔣行為は對日敵性の部が投蔣行為は對日敵性のでは、東京殺國通、佛領印度支

○ 講を行ひつつあつたが 外務次官は十九日午前 の 講を行ひつつあつたが

田田 A 水越内之介 新京日日新聞社 を 本 本 和 英 憲 本 本 和 英 憲 行品品

長谷川の各部融は敗敵を見谷川の各部融は敗敵を見るが、大高地に據り抵抗を試み方の東山寺北の連撃を開始

売の堅陣を死守する第 の堅陣を死守する第

れを潰走せしめ同日午後 その北方金子堤に進出した たた 放走に敗走を重ねる敵約一

と に向ひ戦果を擴大中である。 一 撃滅し十九日朝來更に北方 一 撃滅し十九日朝來更に北方

本の東亞新

に協力することとなった 関京に闘來し和平建國深 学昌兩氏は最近重慶を殿 図民黨中央黨部劉仰山、 和平に協力

措置

外交的折衝

日の投蔣行為につ 脱軍抗議を行つた は で の 大使の来訪を 和ぞれ任命した 周氏は四川省政府委員。 軍事委員會戰地視察員の 職にあり、劉氏は中央 職にあり、劉氏は中央 際任孰れも國民黨部委員。 要幹部である

重ねて嚴重抗議

增產資金割當

八道江

林子頭

塊炭

切込

五道江

鐵廠子

還元額を時局農産物増産数別策を樹て特殊會社の利潤を協て特殊會社の利潤 十二萬圓の各市縣割當頻

通】フランスの降伏はルー 別交付額を決定増産對策に働、地方更生を中心に市場検討中のところこの程採種

火

切込

三

粉炭

同

塊炭

席の下に等務科長會議を開 に生部では來る七月九日よ とは、 を省及び新京特別市の等務 で民生部會議室に於て全滿 で民生部會議室に於て全滿 で民生部の三日間に亘つ の一日の三日間に重っ 勞務科長會議

第一日(九日)午前八時第一日(十日)野衛、訓示及指示、第二日(十日)質疑應答述上日(十一日)各部關係の指示及地口)各部關係の指示及地方勞務情況の報告

同 切込 切込 粉炭 七 七五 現地軍部決意表

ず國際的紛糾の遵生を企圖しあり、帝國車は敵軍およびその軍事施設に對しては斷乎撤底的攻撃をもつ しもつて不慮の事態發生を避けらるべし、若し然らずして生じたる損害に對しては帝國軍はその責を負これや粉碎するの決意を有す、第三國官民は右事態と高空爆撃の特性とに鑑み速かに安全なる地域に退 利用の軍事施設に對しては徹底的攻撃の手を聊かも弛めざる確固たる決意を表明、わが方再三の斯かる海軍最高當局では十九日左の如き當局談を發表、重ねて第三國官民の避難方を勸告すると共に第三國權實を指摘し第三國官民の安全地帶避難方を好意的に通告したが、直接重慶攻撃を行ひつゝあるわが現地瘻益を楯に軍事施設を構築、國際的紛糾の突發を企圖しつゝある事實に鑑みわが外務當局では旣に右の **空火砲を配置し、または軍事施設を構築する等卑劣なる手段をもつてわが攻撃を困難ならしむるのみな睥陸海軍航空部隊累次の重慶攻撃の結果に徴するに敵軍は巧に第三國權益を利用し或はこれに接近して 叉那派遣軍、支那方面艦隊當局談六月十九日午後三時發表** て未だなき致命的打撃を抗戦陣營に與へ重慶全市 たる損害に對しては何等その責を負はずと

ものとす、右に關しては囊に帝國外務當局より既に所要の通告ならびに意思表示を行ひたるところ

容內談

題に關しては英國の屈伏後に來るべき媾和會議でべ ソリーニ兩維の會談は佛の休職條件に關する質面のにされないが「休職申入れに對する獨伊兩國政府の

とるべき獨伊兩國の共同態度につき意見の一致を

問題に限定され歐洲新秩序の建設に關する基礎的問態度」と特に明記してある脳からみてヒトラー、ム

で會談の内容は一切明か

して獨伊兩國が取敢へずフランスに强要すべき休 殊に休職協定成立後も佛海軍が英艦隊と協力し

オランダ兩國の問題とともに最終的に討議

決定されるのではないかとの觀測が有力である、 **戦條件としてはまづ佛軍の完全武装解除が考へられ**

B

いに誘引殲滅戦

下宜昌北方高地一帯に壯烈
たまる敵大軍を追撃、目
たまる敵大軍を追撃、目 してはフランスが再び英國と協力して反獨行爲に出るこ

媾和條件佛政府接受 []

としてゐる點からみて休職條件の中心は全軍の武裝解

の説が事ら行はれてゐる

九日夜か廿日早朝にならうといはれる ンス政府は獨伊側の媾和條件通達を一十八日夜NBO放送局の接受した

ーマニア國王カロルニ

にコルシカ、チユニス等の領土問題を休職條件として抗職を繼續する惧れがあるので佛陸軍の武裝解除

連續大爆撃に 重慶々

迪兩部、憲兵司令部など何

なさせられ午後二時十八分內苑門發御、同州分近衛師團に成らせにて御乘馬に召され松平宮内大臣、百武侍從長、蓮沼武官長等を從「東京發國通」天皇陛下には十九日午後の御運動の御砌り御軍裝「東京發國通」天皇陛下には十九日午後の御運動の御砌り御軍装

任に感激、甘頃猛訓練を行つて

分近衛師園發御、天機麗しく還御あ日頃猛訓練を行つてゐる精鋭を親し

よりの確報によれ

【香港十八日發國通】重慶

ては本日御運動の御ついでをもつて近衛師圏に御立行幸を拜して將兵は叡域の程に愈よ恐懼感奮固き忠行幸を拜して將兵は叡域の程に愈よ恐懼感奮固き忠

砲撃し來れるをもつて軍

敵堅陣を猛攻

當陽北方に殲滅戰

事館後活式

わが海軍部隊活躍

手各部隊は十八日

第三次案成立

第十三師の主力部隊は判門 西北方十五キロの牛尾山附近北方十五キロの牛尾山附近に山砲二門を据系猛攻し 変し でいる 大下各部隊はこれを猛 変し できる (2) できる (2) できる (3) できる (4) できる (4

張家口與亞院透絡部

ン案は十七日・ーズヴェージをもつて米海軍の一割一分 小川秦三郎大佐

弗、二ヶ年計畫として兩院 修正を受け六億五千五百萬 院海軍委員會において削減 **米居鴻臣氏〈興亞院囑託** 温氏 (小野田セ

一氏(親和木材社 ●運般賃は從茶の通り別途可申受候

康德七年六月十九日

うすりい丸で東京へ 信任か公使東京へ 信任

●右は特別値段(一般御家庭用)に 標準値段は總で一圓三十錢增

日滿商事株式會社 新京石炭販賣

石炭販賣值段改正

此段及謹告候也 六月二十日引渡分より實施可致候に付 新京市内石炭販賣値段左記の通り改正 廣 成燃料、

錦州に

を期することとなった 換し今後の運営に遺憾なき 換し今後の運営に遺憾なき

はない しては使用済空袋の張制返 との打合せを終了し次第具 との打合せを終了し次第具

洋灰包裝袋の

大興公司の貸

端午後で著増

工場を設立

(日曜木)

議別合成燃料常務理事田中 をす丸で歸連したが、同社 の大牟田人造石油試験工場 の成績及び錦州に新設の工 場計畫について船中次の如

は五月二十九日に行つたは五月二十九日に行つたは五月二十九日に行つたは五月二十九日に行つたは五月二十九日に行つたるのであって設立したであってが、漸く實をもつてが、漸く實をもつてが、漸く實

一を發揮して、庶民金融機關と見られる端午節は、依然傳統の力を發揮して、庶民金融機關と見られてゐる大與公司の他經濟生活內容の膨脹等

に起因して本年度端午節における貸出高は窓に昨年中における最高貸出高を突破するに至った、即ち昨年度貸出高最高は仲秋節ごる十段出高最高は仲秋節ごる十七萬圓で端午節前後における最高

机制强化實行

興農部に於い

國家統制によつて萬民共樂 全理想とし、一部階級に利 金融斷を許さないと云ふ滿 針の具現方策として「國助 の一個一個人 の一個人 がでしか以て無統制なる置 体せしめ以て無統制なる置 を確しるとともにその開

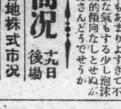
に躍動する (Ξ)

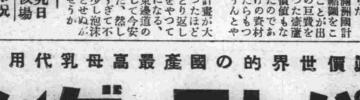
一 三月鑛産資源調査所を設置 三月鑛産資源調査所を設置 に當らしめ全機能を擧げて 清々整備質績を收めつゝあ 一 一 一 一 では康徳六年八月の鑛業性の では康徳六年八月の鑛業性の では康徳六年八月の鑛業性の では康徳六年八月の鑛業性の では東徳六年八月の鑛業性の でいての出願も同社で受理 し、鑛業権を設定すること となつた、製錬については 世際六年三月率大製錬所を

等の 場合は投資を行ひ機態的な 一定 と ない範圍にまで立入つて相 こと ない範圍にまで立入つて相 こと ない範圍にまで立入つて相 こと ない範圍にまで立入つて相 では 談に應じ融資金を行ひ機態の 要理 認めた場合は銀行の及び得 では 談に應じ融資を行ひ、又事 が、将來の增産こそ期待し が、將來の增産こそ期待し が、將來の增産こそ期待し が、將來の增産こそ期待し で製工である。 、 の取 資金融についても增資機構 である。 の取 資金融についても增資機構 である。 の取 資金融についても増資機構 である。 の取 資金融についても増資機構 である。 の取 資金融についても増資機構 である。 の取 資金融にの及び得 では 談に應じ融資を行ひ、又事 である。 のの 場合は投資を行び機態的な のの 場合は投資を行び機態的な のの 場合は投資を行び機態的な

入六億九千五百七十二萬八 十四萬一千圓の入超となり たれを前年同期に比し輸出 において五千五百三十八萬

商况法司





乾瘟造機店







繊維産業を再檢討

をである。だとすれば、佛領印度支那の敵性はわれるである。のである。おれわれはかのである。われわれはかのである。おれわれはかのである。おれわれはかが、ともあれ目下のところだけでも佛領下のところだけでも佛領である。大きな、歐洲の戦争によったらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたらされることに對してたるのである。 一、日滿農政年次報告一、第一回總會決議要認事項の實施狀況報告 一、滿洲農産物增產十ヶ年計畫に關する諮問第二日(廿三日)第二日(廿三日)第二日(廿三日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日)第三日(廿四日) 観され、その影響甚大なるに鑑み政府及び關係者間ではその應急對策として一、山西省太原、西安附近の生石膏人手一、能登中島及び福島縣に産する日本産石膏の割譲、五石膏の入手四、カナダ、オーストラリア其他外國産石膏の入手の米があげられてゐるが、

七乃至九增産策で

地域 は従来輸入してみたイタは従来輸入してみたイタは従来輸入してみたイター がて低度であると同時にあて低度であると同時にあると同時に関しては生産量

も、 今後の對策如何に供 洋灰生產に支障は來たさい ストックに依り差當つての 工・アクに依り差當つての の の 五千逆及び

全滿炭礦長會議

一点となつ 関し政府はさきに 日力不足は たが、更に物質審議 霊にも重 意向を参酌した結果 で審議 如く正式決定をより 全り

左月頃より漸次旺盛とり現在各炭酸の苦力吸收り現在各炭酸の苦力吸收り現在各炭酸の苦力吸收。 大支障を來す狀態にありて自動的では、 大支障を來す状態にありまするといもに對する諸對策を認 するといもに資材配給、 力補給等に付ても萬全の 完遂を期することになっ (東京設國通) 鐵鋼政

貿易概況

憂慮さる

五月中旬 逆調益す増大

業疾製造に必要缺くべから さる石膏に付ては満洲國で は従來その需要量の大部分 たのであるが、イタリー家。 たのであるが、イタリー家。 たのであるが、イタリー家。

■の入超である、これを前側、繰入六千七百二萬五千側、輸入六千七百二萬五千 側、輸入六千七百二萬五千

増を示し輸出パパランスの 増を示し輸出パパランスの

る場問題に萬全

來月省次長會識召集

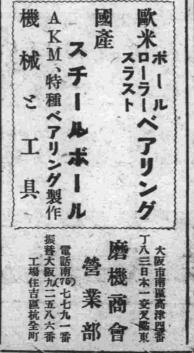
東京屋質店販賣部

六一二、八一一三七、三三九、 三七、三三九 三七、三三九 御婦人衣裝錦珍御召物山積

時代の要求 流極出物專門







國産





せん、そして一通り花が吹ききつたしますが、素人が帷澤山吹かぜて郷せやうといふのでしたら枝を卸した

ます「寫真とたり蕾や

新らしい鍋 を使ひ始める時は米 のとぎ汁をわかして から使ひます。瀬戸 は粉石鹼で磨き洗ひ

かを下するとナつかりするとナつかりするとナつかります、これがでニ、三

モ 庭

新 L V

すった。 なりますが、 なりますが、 でいまかしておくと、 なりますが、 でいまかけるとますが、 源に長くさらしておくと、 でかけると共に面を考っして質は脆く なほレココトドは夏は脆く なほしココトドは夏は脆く なほしココトドは夏は脆く なほしておいても埃が必要です、 なほして下さいですかが必要です。 なほして下さいですかが必要です。 なほして下さいですかが必要です。 なほして下さいですが必要です。

氣絶ヒキッケ 般冷、夜泣き

胱炎

網の前後にも

。))、ラデオラスは別に手がかかりませんが、ダリヤやカンナは一くグ 球から幾つも芽が出るやうでしたら丈夫さうな一芽を残して他は摘取り一本仕立にします、少し芽が伸びて来たら丈夫な支柱をやるのですが、支柱を立てる時に球根を傷つけないやうに注意します。の枝などを用ひてもよろしいでせう、又若し害蟲の附いてゐるのを發見したらすぐ除蟲薬や其他の驅蟲劑を用ひて驅除しないと段々弱つて折角の楽しみがフィになることがあります

一日 されて初夏の夜をラデオによつて樂しまうとスピーカーに耳を傾けて、あるとき「ピーピー」「ザー」といふ不愉快な雑音が入り折角の一家興樂が養無しにされることがあるこの放送電事者も非常な注意を講じて居り、日本では昭和八年委員會を設けて、接種、技術兩方面からこれが對策に努力した結果、昭和十一年末岩手縣を皮切りに各府縣に亘り取締令の施に各府縣に亘り取締令の施

は障に原因する普通これを 関別けるには受信機を動作 大時、今迄出てるた難管が が、状態に置きアンテナとアー 大き受信機がら取りはづし それでも難管が消えない場 会は受信機内部の故障と看 を付 で外部的障害を指してある で発種障害波邊生機器に對 で多種障害波邊生機器に對 でも報音を防止するには先 で発種障害波邊生機器に對

(2) 防止機をと (3) 屋外配線及等 (3) 屋外配線 (4) とと (5) とと (5) とと (5) とと (5) とと (6) と (6)

じ内部を乾燥するからでによつて僅かでも熱を生

主

消化 カン、

ムシケ 不

乳はさ

健

調

444

仕滿青壯年の

伊

太利參戰

0

目

が

斷然多

粧崩れ

伊太利の長靴の出いた。 を考すに地中海の囚人である。 を考へられるます。その外には を考へられるます。その外には を考へられるます。その外には を考へられるます。その外には を考へられるます。その外には

はない。 はない。 はない。 をではがいし、バスケット、フットボール、テニスケート等略な者も少数あるにはあるが、三十歳前後の外には殆んど運動のしいものはやらないやではあるとは僅かに日話、習字であるとは値かに日話、習字であるとは値がに日話、習字であるとは値がに日話、習字

か 本語と習字で批命(観相) であるのも面白い、運動では繊棒、木馬、テニスが相 は繊棒、木馬、テニスが相 の は繊棒、木馬、テニスが相 であるのも面白い、運動で は大きに比すれば多々たる感 協東州では脳東州電 高が職取障害防止の るが職取障害防止の

b

LI A A

76-68

便り

(1) 放送の電波强度を増すこと (2) 障害波を出す機器設備に有效なる防止施設を 備に有效なる防止施設を 強すこと (3) 聴取者側において障害を受け離き方法を探す こと (3) 聴取者側において障害を受け離き方法を探す こと (4) 電気機器設備の故障の早期發見に努めこれを の早期發見に努めこれを の早期發見に努めこれを の早期を含まると と (5) 無障害式機器設備の故障

(11日…11十川田)

○二十五日…二十七日) 五階………

結核と子供は!

業効を

0

疳が傷は丈夫 場もない もない 首ちが



₽₽三中井△△



▼夏の雑貨賣(一階)

(二十一日:二十日)



一階……… ▼夏の紳士用品特賣 (十五日…二十日) 二階……… ▼婦人子供雜貨特賣 (十五日…二十日) 三階……… 三階……… 「十四日…二十日)

を嫌ふ蓄管機やレコードは 特別に注意しなくてはなり ません、蓄管機砕に電気 音機は温氣の多いところに 長く放つておくと、中の部 分品が非常に故障を起し易 くなりますから時々スイッ チをかけて下さい

息に對し

をにより障害を除ったいことで、更に 原因となる機器、1 原因となる機器、1 をにより障害を除った。

以

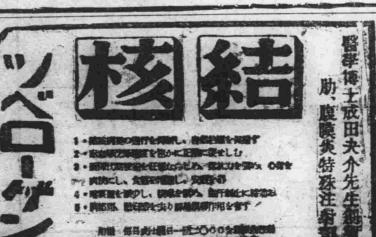
域は設備 関は設備

多角 とも従来の薬剤に見 することは多數専門家の實 ある。

扁桃腺炎、 疗、化腹性外傷 性腺炎、中 耳 灸

等一製藥株式會社 東京市日本機區江月橋三丁目

大 が確實と云ふだけで あり、又強化病苦を致れし あることが治療ので無濟的で あることが治療ので無濟的で でない。 でないるないで、 が確實と云ふだけで エンザ菌、肺炎菌、脳膜炎 で限らず化膿腐、インフル で限らず化膿腐、インフル 魅念も要しない。テラボー いで礁信があり、副作用の から残力の 大腸菌其他の細菌性疾







でせうが、植込みの遅れたガリヤでせうが、植込みの遅れた方は今直で元肥(堆肥や古い馬薫)を充分に施し、球根の表面に球の高さだにかり、球根の表面に球の高さだが、 球根類の

xxx

聽取障

11

とう

\$

ればよ

40

雜

音

とはないのです

蓄音機]

1

夏の保存法

XXX

美し 吹かせませう 手入

が統計表の作製に大童の状態である、完全な統計が出態である、完全な統計が出態である、完全な統計が出態である、完全な統計が出たちょつと現いて見てもなかなか面白い傾向がうかよはれるが、その一部先づ日系男子の二十歳から三十歳までといふ最も設めかなしに何かのスカルとして夢多い青年時代は発して夢多い青年時代は

内案の容美

0 高

づ 顏 の冷濕布か

6

が、化粧水を刷毛にしめして、水白粉でもお化粧後には、アストリーンをがりなさい、そのやうなとを使つたにしても粉白粉でもお化粧後には、アストリーを形がのできなどが、そのやうなどが、そのからかったにしても粉白粉でもお化粧後には、アストリーをおりなどは、アストリーをおりなどは、アストリーをおりなどは、アストリーをおいたができないが、から抑へておおきになる。



そ千金の價値!!! 高島の活断こ 其病姓素相適運 他氣名相性業勢

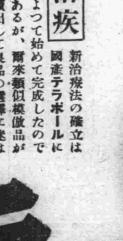
鑑定は信用の る易断所で

の特に優れてゐる點は



今ぞ知 3

はつて始めて完成したのでよって始めて完成したのであるが、関來類似模倣品があるが、関來類似模倣品がある。然し よつて常にテラポー







月して下さるのかと思ふ今 み上げて來ました。から母 いふ時に、お父さんとおたらと思ふと、一そう態 しくなつて、たうとう。

(日 曜 木)

のて郷闕(?)出でた勇士 は継人に励まされ、はり切は継人に励まされ、はり切

型 からにはたつた一度でも良い、夢の中の乙女李明さんい、夢の中の乙女李明さん

がスターをめざす人種と考 がスターをめざす人種と考 へられぬ程地味、満映の演 員さんの方が流石に伊達で おしやれである、もつとも その満映のスターも今でこ そーかどの映畫人らしいス マートなスタイルをしてゐ るが昔はと言へば、やはり

まいもの、此んなにも差が 施石にスターだけあつてう 施石にスターだけあつてう

口答試驗場を覗

華の

スタ

10

0

我々 日本人から見る (と隣人のズボラ と) と隣人のズボラ さが如何にも個性に富んだ らしく見えて妙である、一 ちしく見えて妙である、一 番髪つてゐるのは之で演員 武験を受けること三度目と言ふ猛者、紺の上衣に白ズボンに白靴、ネクタイと言 かワイシャッと言ひ身づく ろひは總て滿映演員も額負 けする様な超モダンボーイ さば依文治と言ふ新京で有 さいとうと



之で三度目

へば直ぐ足を組んだり足を一は一向に無關心たもので、腰を掛けろと言一投げ出したりお行機

きやなほ



大、〇〇(新京)建國監操 大、一八(大連)入港船の お知らせ 大、二〇(東京)ニュース 大、二〇(東京)ニュース 大、三〇(大連)中等満州 大、五九(東京)時報 「生活の反省」岩下駐一 「生活の反省」岩下上一 「、四、バストラコート、バット、四、アラット。四、アラッドで ルの女」第二番ビゼー作 ルの女」第二番ビゼー作





0)

修

は行き慣んであるのではないかとあふ、その一方法と人が自己の生活を戦気を取る方面から各人が自己の生活の映画を要して任き慣んであるのではないかとあぶ、その一方法として中ましい所があつたらをよいと思ふ、斯の如く

ウヨシ・アビムロコの夏初

のみじなおてに「奏重

郎兒狂野牧

門黃戶水

福幸たし出き叩

のきづつ員満 員動總竹松 畵映華豪の

T.Moda

女敷千を後宮に擁した國の人為的なものに絕對性がな

一般人民の生活を幸福に大支配者達の行つた政治は、

(五)

私は其後縣長に相談し、 なつとめて行ふことにした その度に無聊をかこつ縣職 員の家族を引つ張り出した ものである。どうかすると 午後の三時頃突然縣公署の 全員を廣場に集合させ、各 やパレーボールの試合をや 政治 に生活の

ものである。だが私が日軽大會や福引等よくやつたし、家族を含めてのな

で生活に潤ひをつくる為に 関要なことではない。問題 は満来と日系有家族者と、 日系獨身の三者が響む私生 無に見えるのであるが、それ の人が獨身であるか、將又妻帶者 であるかは勤務の上に殆ん であるかは勤務の上に殆ん

身者は縣公署に通ふ往復の 道路が悪いことや、傘をさ が ぎないものである。従つて 際下農民の農作物の被害を してる家族連れである。 をしてる家族連れである。 をしてる家族連れである。 でしてる家族連れである。 をしてる家族連れである。 をしてる家族連れである。 をしてる家族連れである。 者は自分の畑の作品 を案ずるのである

するのであるが、獨 であるが、 そして早天が續いた をして早天が續いた 分の畑の作物を朝に からした場がられて居る があるが、 その出来工 住ひに腰

(1)

於

田縣僅か一ヶ年にして私 は新京に轉任になつて來た のであるが、新京に來て淋 しく想つたのは、土いぢり で實 田縣に勤務したことは、満たので 洲に於ける私の第二の故郷になったとされ、満たので 洲に於ける私の第二の故郷になった。 に接するとき北浦の田縣をためら は一つの要綱案や調令案等にはあるとき北浦の田縣をためら はもう全然理童なしである。私がら にもう全然理童なしである。私がら に接するとき北浦の田縣をためら に接するとき北浦の田縣をためら に接するとき北浦の田縣をためら である。だが、その當ては とが現地に移されたことが現地に移されたことが現地に移された場合ど とが現地に移された場合ど とが現地に移された場合ど とが現地に移された場合ど とが現地に移された場合と とが現地に移された場合と とが現地に移された場合と とが現地に移された場合と とが現地に移された場合と とが現地に移された場合と とが現地にある。だが、その當ては

たので め方は

である。せいん(突き進である。せいん(突き進である。せいん(突き進地に立つことにても大地に鐵を振ふ農民では、推測は出來でも信と實感を以て考察するとは出來ないのである。とは出來ないのである。とは出來ないの正しき資格の政治を論じ行政を劉策の政治を論じ行政を劉策ととを優え、得々としきことを覺え、得々としきことが世ることが一再 n、如何にして之を質問この要綱、訓令を受けた。 の方は自分が副縣長と こある。せいく 笑さらかと云ふ立場で考っかと云ふ立場で考って、如何にして之を無 もに民うのし立 良種鬼分讓 [月錄進呈]

全遺魔に來た私は、

高橋種兎場

これは室生犀星が『中央 公論』の六月號に愛夷してゐる一篇である。 会部が三つの章から論の六月號に愛夷してゐる一篇である。 第一章は、ノモンハンで職死 中心である。 第一章は、ノモンハンで職死 中心である。 第二章はずつと以前、その家といふのは、強威になつてゐる。 第二章はずつと以前、その男が子供を亡くし、その子によく似てゐるといふので可愛がつたのであつた。 第二章はずつと以前、その男がでつたりどの真にも表現されてゐる、それに主人公の氣持つてゐる作家であるが、斯うした方面でも腕を持つてゐる作家である事を知らせる、そんな作品 **畫人に負けないだけの自信** はない。 の、戦死 し格策大。 東京・新京新京響町四八二脇坂新京響町四八二脇坂

思想と民族性

子が、兩者の理解の仕方、感 じ方には大きな距離がある だから一方だけが感激と熟 で 情を以て臨んでゐるのに、 相手が不感症だからと云つ て腹を立てるのは、民族性 を無視したためか若くは知 を無視したためか若くは知 を無視したためかおろくは知 を無視したためかまる。人を見て法を設けとい

票

と日系満洲

(6) が高にのやらな政治に對する無關心といふことも歴史的所達であつて、漢代末に無關心ではなく忌憚なきで有名な素代の學者は決して政治で有名な素代の學者彈脈となって有名な素代の學者彈脈となった。要も、その結果は抗儒焚書となって有名な素代の學者彈脈となって有名な素代の學者彈脈となって有名な素の學者、數千の學者、

政治運動者が死刑に處せられるといふ――薫禍――悲惨な結果に終り、爾來反動として國家や社會や政治などへの無關心を以て學者の然の懷に抱かれるを樂しみとし或は道教の世界に自己を没するといふ風を作すに至つた。 して環境を打開して

たは、本は日と時間とは足りないのである。 をでする、と言つても外領は未だ寒い、どうかする。と、いった、と言つでも外領は未だ寒い、どうかすると、はではじめると、苗床には切薬、大豆散その他諸々の物が、踏込みで度べで加をでしまふ。というなどのでは一世いに、農耕の準備が始まなどのでは、初砂を混へた理風の日が、この上の源度をで変べで加をでしまふ。先づ大抵は満洲式の犁丈や壊べで加をでしまふ。先づ大抵は満洲式の犁丈や壊べで加く、都會地の上への宣戦は布告せられる。、大きは、多層の中に潜けると、高栗等が朝早くから、夕暮の靄の中に耕中である。と、高栗等が朝早くから、夕暮の靄の中に耕山である。と、高栗等が朝早くから、夕暮の靄の中においた、直接といる。大づ大抵は満洲式の犁丈を壊が、がは、大きの頃、都會地の人達は、多中見なかつた新緑に誘はれて「行樂の季節になりました」などと、、語り合ふ頃なのである。 一番人は満系日本 大ではなく飽くまでも不滅の大和魂 を滅した日系満洲 國民であらねばならない、處が其の 自題と答民彩票と の組合せは思ひ到 るとびつたり割切 れないものが浮ん

過渡期的國家經 高政策の一助として登場してゐる裕 民彩票は、眞の識 者から見れば色々 者から見れば色々 を高が悲しいかな 之に對する抽象論 さへ耳にしないの は一體何らした事 で有らうか? 或 は良心的に之を論 に於ける心構へが

野田武男

時職に富つてゐないのでは有るまいいのでは有るまいな出來人なり或能量が非常に大きなりに被者は彩票に據る出稼的根生の釀化性。 一次と思ふ、だから 一次は理屈かも知れなりに である。 一次と思ふ、だから 一次と思ふ、だから 一次と思ふ、だから 一次と思ふ、だから 一次と思ふ、だから 一次と思ふ、だから 一次と言ふ衿

し様と考へたんだ』 も。しかし僕はそれを逆用

理論を鹿爪らしく復補さへしてみせることがあるけれども、多くはさうでなけれども、多くはさうでなけれども、多くはさうでなければならぬといふ至上命令として信奉してゐるのではなく、また乙であつては甲でもよく、また乙であつては甲でもよく、また乙であつては甲でもこの習性を持つてゐるのである。過去に於て多種多様なとするところ何一つとして他を持ち、幸福な思出も持つて來たが歸するところ何一つとして みにし、三民主義政治綱領 くこれを讚へ、これを鵜吞 想隨劇演 王

らずから生れたものであるは、演技の如何に難かしきは、演技の如何に難かしきは、演技の如何に難かしき

『それは君達の責任ぢゃな

を得て、何らやらカメラは、出来るだらら。今封切つは、が出来るだらら。今封切つい、ことが立證出来ると思ふんが、一言の映畫進出が、その實目を表でして、選及びその類似或は共通等のあることが判るだらら。本だし、言ふべきときでは、まだし、言ふべきときでは、 とによつて、藝術的に生かした。 表現するといふ力は未だ無 しくなつてあらはれてくる で自分の實力かの如く課信で た自分の實力かの如く課信で た自分の實力かの如く課信で た自分の實力がの如く課信で た自分の實力がの如く課信で た自分の實力がの如く課信で た自分の實力がの如く課信で たって来た。 この打破を何が此の解決の一つとしても映 か 此の解決の一つとしても映 か らはしないでくれ。 ご待つてくれ。 でき のかね君は! 』 「待つてくれ。 さう先ばし を業に出して別な角度から 修業に出して別な角度から 修業に出して別な角度から 診がある。だが野放しの旅 診がある。だが野放しの旅 にいけない。旅を共にして 『勿論僕等の責任もある。 しかし民族的、社會情勢的 な條件を忘れて貰つてはこ まる。僕等はこれらの克服 をもなさねばならないんだ それは指導的使命を持つ日 それは指導的使命を持つ日

『武者修業の映畫で、從來の端映作品に對抗し得るものが出來るといふ自信があるかね』 『あるれ。勿論出來上つてみなければ我田引水だが、一つの統制ある團體訓練の中から生れた精神、そして演技、満映の作品とは異つた味を持つ映畫が出來上ると思ふ。多少たりとも體得

一般人民の生活を幸福にすることとは何の闘はりもなかつた。一頃の田あれば、なるべく餘計な政治の干渉を受けることなく、むしろ政治や支配の外にそつとして置いて貰ふことを望んだ。ラヂオや飛行機の便利であることも知らぬわけであることも知らぬわけであることも知らぬわけであることも知らぬわけであることも知らぬわけで

『來月はそんな企畫がある のかね。それは大いに期待 しよう』 刊 紹介



熱病專品

は

ニュウシンキョウ

迄純喫茶ザロン

(東一條通銀座新道入口

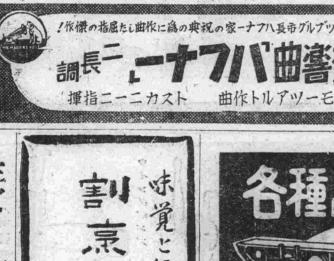
第十一回全國菓子大飯監會

壹等賞

金牌受領

表後に國家に密附すると云ふ惱み拔いた諦めでなく最初彩票を買ふ時から其の氣持と自覺だけは持つ可きだと考へる、すれば少しは氣が樂になるだらうと思ふの

『未完であるから恐れるんに禍されることを案じるんだ』



覚に気かし

治

あず

旌

新

元造製

元賣發

電話②一八四二

慢性中毒症 モルヒネ、 適應症 一〇曾

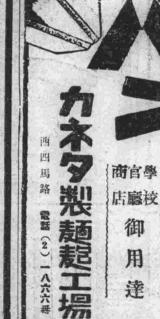
所究研學化醫堂天順 商 店 邊 田

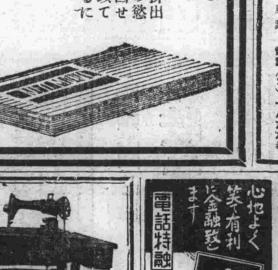
生成せられたる異狀物質の排出を促す、從つて常用痲痺薬の慾を促す、從つて常用痲痺薬の慾る隨伴症狀を好轉せじめ、以てる防件症狀を好轉せじめ、以て 苦痛を緩解し



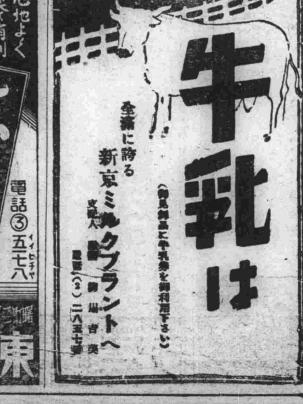


















(日 曜 木)

蓄報國に貢献したいと思會に滿采各學校と協力儲

はか全線各所で折返し運轉 が試みられる ・二號線=從來通り、康 徳會館、長春大街、首響 神泉路、司法部各停留所 ・一葉線=従來通り、康

ボ止し、十號線を増車する ・ 張線は午後七時以後運轉を

は次の如くであるが一、二る、なほ各號線の新コースる、なほ各號線の新コースをは発送線の新コースをはない。

國都 あすから大異變 七號十五號は全廢 路線

D-2-69

急性

VZ

新東亞建設の振點滿洲國が 富家强國運動の一翼として てゐるが、現在までの儲 法との大学が日系に依存、 はその大学が日系に依存、 だしの憾みがあるので、滿 系門の儲蓄觀念はなほ未 だしの憾みがあるので、滿 不の普及徹底には一層の 力點を入れ儲蓄報國の成果 を收めやうとその方針を協 地區である城内において龍 王廟國民學校で儲蓄はまづ 一袋からと毎週月曜日一汁 一菜を勵行し七百の學童を 一葉を 動員する「一銭儲金」を開 満系地區にも 澎湃儲蓄運動 龍王廟國民校では一袋儲金 者を感激させてゐる、右に 裏書きする一面としては政 つき龍王廟國民學校興宗周

血壓も高まり のぼせめまひ 體弱りに悩む 肩凝り眼霞み

小型オイルポン

受皿

扁桃腺炎」 疾患に繁用せらる。

ールは内服によりて、よく優秀なる効果を擧げ短 時日にして分泌物並に淋 菌を減少、逐次消失せし 効尿を清澄化し、速かに が成まる効果を擧げ短 適應範圍廣く、次の如き療法卿なるにより、その療法卿なるにより、その を以て皮膚、粘膜並に尿を 然かも本痢は非色素性なる

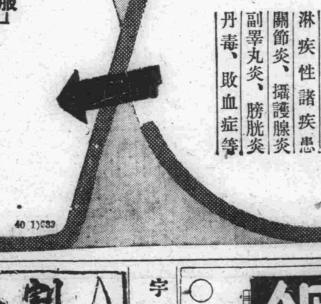
高熱と疼痛を伴ひ、然か高熱と疼痛を伴ひ、然から ・展々切開手術を要し、 ・時に敗血症等の重篤なる 合併症を來すことある扁 は、病原菌に對して殺滅 的に作用するを以て、原 の的治療効果を收め、悪 化を防止し、高熱を下降 でしめ、疼痛を緩解し、 の疼痛



短期內服一 化學療法劑

●五年後十年後の

年後十年後















洋品雑貨部問屋



斯界に定評する



號九十六百二千六 奉祝交驩競技

あす開催

◆第二日(二十二日)野球 = 布哇對滿俣 ◆ 比島對實業 ※ 〈第三日(二十三日)式典(交號式)公演▲陸上 ▲ 野球 = 比島對布哇野球第二十四日比島對布哇野球第二十四日比島對布哇野球第二 ●第二 日程は左の通り 日程は左の通り 連運動場實業、滿倶兩球場大會は愈よ二十一日より大大會は愈よ二十一日より大 ●布哇對實業 ▲比島對滿

用度法兼買異法療兼法 丸掃書 需 断の

梅毒と體毒に効果勝れたる 梅毒性關節炎、ひゑ 梅毒性副節炎、ひゑ 梅毒性神經痛、横ね 株 東 性 内 臓 疾 息

企 上東登田武

【編價格】 110錠(1圓10) 100錠(1圓10) 【用 量】

その他 麻等の治療大小手術の前後に用ひて 大小手術の前後に用ひて

二、哦牛

輕便計量機

非観血的に治癒せしめ得

爾東代理店 大阪市東區遊戲

東京市芝浦 名 公公

(-F.) .

故高園冬井七別式 により神式にて十九日午後四時から関助會館 された、式場は各方面から贈られた花環で埋 が風景等電關係者、溝洲域、郷軍、岡婦、協和 が園袋代表者積々と参列、式は新京神社神職 がの如く進められ梅津扇東軍司令官、阪村参謀 がの如く進められ梅津扇東軍司令官、阪村参謀 がの如く進められ梅津扇東軍司令官、阪村参謀 がの如く進められ梅津原司令官、阪村参謀 がの如く進められ梅津原司令官、阪村参謀 がの如く進められ梅津原司令官、阪村参謀 があり、

多摩陵御多拜 陛下

普及認識に萬全の大衆宣傳

國勢調査準備進む

でに一時の滯在者も丸で 列記すること」なつてゐる を中告書乙號ノ一及び乙號 ノ二は民籍原簿の資料と カで日本における は世帯書乙號ノ一次び乙號 中告書乙號ノーの資料と なるもので日本における は世帯書(原長)が自分 は世帯書(原長)が自分

「暑くなつたね」と街で途前筋の汗を拭きく上衣を育筋の汗を拭きく上衣を前筋の汗を拭きく上衣を腕に抱へて灼きついた剣頭の遊木蔭を選つて歩くけふ鬼の遊木を何時しか緑の色と汗ばんだきのなかに新緑に目の午後は近来にない物変いの午後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子後は近来にない物変いの子を見せアスファルトが表面を

高がい日ととし色公目雲ふ道を

源愛護の見地から

の見地から玩具そのことになつたが資一のことになったが資一の記録

を實践する邊境の開拓民そ 中である を實践する邊境の開拓民そ 中である を實践する邊境の開拓民そ 中である

首都本部で名案計畫

「農政を集仰するとともに今 千名参加の下に盛大に舉行 ・皇談を集仰するとともに今 千名参加の下に盛大に舉行 ・皇談を集仰するとともに今 千名参加の下に盛大に舉行 ・空間め併せて銃後赤誠を第 隨へさせられ畝傍山陵に御 けった百年奉祝銃後奉公期成大 祭場に臨ませられで自決下で です。 ・大百年奉祝銃後奉公期成大 祭場に臨ませられば傍山陵に御 けったり本青年團、蓬業 の默疇を捧げ聖楽完遂を前 けった して全國民は一齊に一分間 おいて大日本青年團、蓬業 の默疇を捧げ聖楽完遂を祈 して全國民は一齊に一分間 おいて大日本青年團、蓬業 の默疇を捧げ聖楽完遂を祈した。 父總裁宮台臨 銃後奉公大會擧行

意義深き事變三周年を記念 り來る。 あの に授與された、殿下には次で神宮外苑グラウンドにおける宣誓式場に成らせられる宣誓式場に成らせられる配解助證明との必要に対する感致勇士の英靈に對する感致勇士の英靈に對する感致勇士の英靈に對する感致勇士の武運長久祈願、 「四部解別證明、近衛會長 で神宮外苑グラウンドにお で親しく御捧護あらせられ で親しくのでは、出

皇帝陛下御訪日を前にして 民生部では十九日午後一時 からの「學校放送」を利用 し、各大學から國民學校ま で千七百餘校百廿萬の學生 生徒に對し今回の御訪日の 御主旨を謹話したが、各學 に更にこれが徹底を圖り廿 に更にこれが徹底を圖り廿 に更にこれが徹底を圖り廿 本では朝會その他の集會每 時まで慶祝の意を致し御旅 時まで慶祝の意を致し御旅 からの御平安を祈念しまつる 不 日御意義を宣揚學校放送に御訪

日支和平に

維氏を語

満航機不時着 市九日午前九時川分新京設 週化に向つた満洲航空旅客 週化に向つた満洲航空旅客 機プスモス機は十一時廿分 近の河ぶちに不時着したが 機能を小破したのみで乗客

の直前まで

てゐる者とか寄宿舍、下人の世帶へ獨りで同居し人の世帯へ獨りで同居し

常に現存するものでも、病院等にゐるも

家世の

る申に記

のである

申が

臓麻痺で急逝した、享年十れたが十九日午前十時半小

30

待

ち兼

12

婦人、

子供服

地單色物

各種

で

凉

肌ざ

b

の良い

丽

も丈夫な麻服をお奬めいたします

地地地

製品 各種 が ストン袋地

山入荷致しました

世 滿洲國建國の元勳であり、 成者として知られた故羅振 る 玉氏と銅器の研究を通じて 交遊を續け、去る五月廿六 日旅順に羅氏と最後の學術 談を交した三井物産新京支 店動務石原善吉氏は悲報に

皇帝陛下の御訪日にはぜ りなましたか、御訪日 りれましたが、御訪日 りれましたが、御訪日 りれましたが、御訪日 りれましたが、御訪日 でオーバが手に 入らず首窓を塞いて窓い をが今尚眼底に幾つてゐ た先生の ながりです、建國間もな

暑さは數日續 羅光生は影響に大いな、 を対したのが契機となくお訪れたり、 を対したのが契機となくお訪れたり、 を対したのが表現でで、 を対したのがとなるというでは、 を対したのは、 を対したが、 をがしたが、 をがしが、 をが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 をがしが、 なが夕ん番いヤ世後で青っていることをして、カッカの可日の六にをしこれ萬ついのに己し來し



羅振玉氏逝去

「ほらこんなに丈夫になりました、党母にはひどく心を呼いてをられた様子でいても日を、の日も活政権の成立はひだく心をのがあるのためられた様子であられてあるのために一日をであるのために一日をであるのために一日をしてものがある。 常初の見込み通り行くものである。 第一日をはいる。 第日をはいる。 第日をはいる。 第日をはいる。 第日をはいる。 第日をはいる。 第日をはいる。 まる。 まる。 まる。 まる

密輸の綿布買ふ

配給係を求む、 一、學歷を問はず實直にして成べ一、學歷を問はず實直にして成べ一、市內に確實なる身元保證人二名を要す

東乳の東乳の

カルケン

電(三)四七五四

十八日午後三時十五分市内 響の男市内興運路八二版賣 審の男市内興運路八二版賣 で表演的名字、初は本年二 月から吉林方面に阿片麻薬 月から吉林方面に阿片麻薬 を密賣し四千餘圓の園取引 を密するたことが判明した であるたことが判明した

麻薬密賣捕はる

十八日午後九時頃新京警護 管係で大型柳行李四個を受 に連行取調べた所成畿南 なは朝鮮南陽より密輸入して新京 で買手を物色してお泉石兩 で買手を物色しておまれた所で あると判明した結果右兩 名は朝鮮南陽より密輸入して新京 で買手を物色しておまり、網 で買手を物色してるた所で

書籍配給株式會社

提帶本會社應務課人事係へ御機帶本會社應務課人事係へ御

電3三一〇番へお願しま六畳又は四畳牛(配線)

ます

リテージスター 身元確實なる保證人を要す特に優 り元確實なる保證人を要す特に優

白山住宅に 御順御轉動其他の都合で御住ひを御廳として五百圓差上げますが御禮として五百圓差上げますでするのは一、二ヶ月後でも結構です

遇身日

* 1

元話(3)二人三〇番

教導、慰安奉仕 教學、女子勤勞隊日程決定

低いといふものゝ中央觀察のと三十一度五で○・一度

象度べ

日續さますとあまり有難ない御託宣をおろし、喜いのるのは氷屋さんだける

らけるが 八月前後何れも 社曾事業 第世協議 社會事業 十二團體關係者二十餘名は 十九日午後一時より市公署 第二會議室に參集 第二會議室に參集 一、生活必需品調査の件一、生活必需品調査の件件

御存知の

勝馬算出秘錄

上方大名料理 土方大名料理 上方大名料理

に 一二)の三種類に分けられて 一二)の三種類に分けられて 一二)の三種類に分けられて

残さずに飲め

軍人會館先づ實施

四、社會事業施設調査の件 につき協議を行つたが、一 については皇帝陛下御出發 當日たる二十二日午前六時 半闢東軍司令部前に二百五 十餘名の社會事業關係者整 一分の社會事業関係者整 一分のといっては綿布

勿論これは大同公園の常設 相撲場に事務所を設け、指 程場に事務所を設け、指 だしくなつたのは和久田君 で、あれやこれやと準備に で、あれやこれやと準備に 東京大相撲の 東京大相撲の 大の事だが角 大の事だが角

賣家有り

務所向、住宅にても可

電話③六〇四

高 方 番 告逝に日母 候仕於午小 りて後橋 候狭八モ 昭和十五年六月十九日神式を以て相管べく候時より新京祝町太子堂に 新京富士町一 に心時ト 相管べく候れて大力に対する。



式並材類

示す最新流行の品々が豊富に参りました。盛夏向きの、緑濃き青葉によりよき調和を 7 1 シャツミネクタイ は是非柳屋で

01

あゝさうだつたと云ひなが ち事務所の前に「裏の犬に ち事務所の前に「裏の犬に と書いた札 と歌れたら、ウァ、と響いた札 だとも云はれ、野犬が繋し でも居るのか と訳れたら、ウァ、と笑つ とがなっての。 を出してる、物騒な咬みつ と歌れたら、ウァ、と笑つ とがなみつでの親切領かと だった。

かし厭つかつ札にが

對蘭印處理こそ につき三本宛家庭配給をな む場合日本の古い悪智により同の粹な取計ひにより一人 等にて宴會其他ビールを飲 一方料亭、カフエー、食堂 を明ましてゐたビールも當 一方料亭、カフエー、食堂 厳重な法網をくぐつでの闇 すこととなりビール鴬をわ

の極め手

なりレイノー首相の後を承 がその後に來る歐洲の高事行 がその後に來る歐洲の新職 がその後に來る歐洲の新職 がその後に來る歐洲の新職 がその後に來る歐洲の新職 がその後に來る歐洲の新職 がその後に來る歐洲の新職 情勢語る三島庸夫

中雄ルンつて降る行國戦されれをでもう地く思件ッ九

報・き・矢・け・ 後公の

三一度四

大連連鎖街

七七七六六六六六 上月月月月月月月月 三十十十十十 二一十九七五三二 日日日日日日日

いまん☆

3

台灣語、連載が原に配する議会の 中耳炎・扁桃腺炎・ 開桃腺炎・ 腎盂炎毒

て動☆ ある を推奬され

故に、急性、亜急性、慢性症状の改善邂遢の短縮が行はれば、急性、亜急性、慢性症状の改善邂遢の短縮が行はれば順、尿涸、自覺的苦痛が短時日に消退し、治癒期或は末期排膿、尿涸、自覺的苦痛が短時日に消退し、治癒期或は末期排膿、尿涸、自覺的苦痛が短時日に消退し、治癒期或は末期がある。至し、一分泌物に到達せしめる。從て尿は清澄化し、膿球は減少し、分泌物に利達せしめる。從て尿は清澄化し、膿球は減少し、分泌物に減少に、急性、亜急性、慢性症状の改善經過の短縮が行はれば、 動と、自然 、自然治癒機轉を促進せしむる性質を有しち、これは薬物による直接的な淋菌消滅運

を体特もル 稱内異のパア せの的にジル 所せらる。 「の環境も亦病原体を侵害し得る程度に變化せしむるものにして、その發生盛物及びアルバジル自体は淋菌に對しいにして、その發生盛物及びアルバジル自体は淋菌に對しいにして、その發生盛物及びアルバジル自体は淋菌に對しいが生体内に於て更に分解されて生ずる新産物によるアルバジルの淋菌に及ぼす作用は、アルバジル自体並にア

フォンヂメチールアミドなる化學構造式を有しツオールズルフォンアミド)― ベンツオールズルフォンアミド)― ベンツオールズンアミド基を二個結合せしめ4 ―(4アミノベアルバジルは、此等頑强なる淋菌に抵抗ぜしめ 抵抗するに、な ものゝあることが明らかにされた。
会性期淋疾の或る場合及び亜急性、淋疾に於て、之が しズベフめ

期に、簡單に治療せられる時代を現出した。治療は一轉機を招來すると共に、格段の進步を强力な抵抗性を有することが發見されるや、淋営むズルフオンアミドの一群が、特に淋菌に對連鎖狀、葡萄狀球菌性疾患に對して獨自の作用 がを淋對用

市立醫院眼科

日本最初の完成品たる

東京市日本韓國小井町二 大阪市東區高麗韓五 奉天·北京·廣東

かは化學療法 劑中副

用

の妙

疾

膀

阮隨意 霓 (E) 往診應需

新京中央通 (新京神社前)

貴重な資源

古本買入





山口工務所

入院隨時 花柳病科 產婦人科 電③五七〇九番老松町一六肥後以子 大和運輸公司 機
動物

・
大和運輸公司

・
大和運輸公司

・
大和運輸公司

・
大和運輸公司

事業調查 新京興信公所 新京興信公所

特效薬安心散 お米と 新滿商事 御用は 木炭の

新京唯一の専門店へ普色の良き琴三味線 光海ウル 〇六通條一東

人口目 ロンウ

晝

間

六二時ュ

條純シは 銀茶ン

新サキ

事タイプ印書 日本機画へ九番地 代行社

三发社 電土大九の番

印刷及帳簿



牛乳一个八錢

電話ジウシミロ

蜂通

電3三七〇一番

受性化柳病、皮膚病、關節 特效あり御試藥を乞ふ浪速 町二丁目十八番地 古光堂療院 授業午前、午後、夜間 惠述町二丁目十八 香地 東二條 通 交 番 節 古 光 堂 療院 電 電 話 岩 見 金 四ノ一十目丁三町樂永 前校學小島八 番七三一三・3 電 融

整骨 宋松接肯院 (中央重響祭署前) 央通り

迅親安便信速切價利用 も御用達は



をり茶園とな茶道具はお茶道具は

電の三四八二 **看板** 裝 競四九路經大京第 每三六一二²話意



髙橋鍼灸科院 中央通、九日人人放台下 日日 柳帆 助构英 電③五八六五 13 小兒話的



便廣 製 網 冷 夏 網 冷 夏 瀬 八 利 場 戸 海 油 木利 工部社



高價買入



泉温泉間に 事門八店 電の正八五 電の 11八五 電の 11八五 電の 11八五 で 肉烏専門 あさ焼 電(3至元公







融金工商小中 速 迅 便 輕 社會式株業實省東 (大) 四個大同大市別特京新 所在註) (第十一九四2 話館) 內九 足拓東



般製罐工事並諸機械



具並工作機械 火煉瓦及粘土 氣配線川碍千 工極電 般建築材料